

3/9 福井

介護保険料 6000円超 65%

県庁所在地、政令市調査

高齢者月額 来月から85%で上げ

4月に3年ぶりに改定される65歳以上の高齢者の介護保険料（基準額）について、都道府県厅所在地（東京は都厅のある新宿区）と政令指定都市の計52市区のうち65%見込みであることが7日、共同通信の調査で分かった。85%に当たる44市区で引き上げられ、据え置きは8市といふある。

多くの自治体で値上げするのは、高齢化の進行で介護サービスの利用が増え給付費が

増加する」とや、事業者に支払う報酬が4月から0・54%引き上げられるため。介護施設の整備を進めていることも影響した。介護保険制度が発足した2000年度の介護総費用は3兆6千億円だったが、18年度予算案では11兆1千億円と約3倍になる。今後も保険料値上げは続く見通しだ。

65歳以上の介護保険料は市区町村や広域連合ごとに決まり、3年に1度見直される。共同通信は3月上旬までに52市区に4月からの保険料（議

会の議決前の議案や計画段階を含む）を聞き、全ての市区から回答を得た。保険料の平均は月6192円で、3月分までの平均（5815円）から377円増える。

500円を超える増額となるのは14市で、うち2市は千円台の大額な上昇となる。年金収入のみに家計を頼る高齢者には負担が重くなる。据え置いた自治体は基金を取り崩すなどして財源の一部に充てる。福井市は200円引き上げられ、6300円となる。